

質問に対する回答について  
 調査等名) 八戸自動車道 沢内地区切土のり面対策工設計

質問事項と回答

番号	質問事項	回 答
1	(1) 特記仕様書「2-1 業務の概要」において、沢内地区では既設グラウンドアンカー対策工法の検討を行うこととされています。この既設グラウンドアンカー対策工法の検討を行うために既設グラウンドアンカーの設計計算書および現状でのアンカー緊張力の値が必要になりますが、これらの情報は「1-5 資料の貸与」に記載の既往成果に記載されていると考えてよろしいでしょうか。	単価項目の安定解析により再現解析及び必要抑止力計算を行い検討する事になります。
2	(2) 特記仕様書「2-1 2 対策工施工計画」において、表中に「既設グラウンドアンカー撤去」と示されています。当該地区の既設グラウンドアンカーは既に飛び出し防止対策済のように見受けられますが、本設計における既設グラウンドアンカー対策工は撤去工を想定していると考えてよろしいでしょうか。	そのとおりです。
3	(3) 特記仕様書「2-1 2 対策工施工計画」において、表中に「既設グラウンドアンカー撤去」と示されています。ここでいうグラウンドアンカー撤去とは、アンカーの飛び出し防止のためにアンカー頭部のみを撤去することと解釈してよろしいでしょうか。	そのとおりです。
4	(4) 特記仕様書「2-4 搬入路伐採等」において、除雪ではなく「立木伐採や下草刈等が必要」と示されています。このことからボーリング調査時期は春以降を想定していると解釈してよろしいでしょうか。	そのとおりです。
5	(5) 特記仕様書「1-6-1 計画工程表の記載事項」において、表中に「地下水位観測 設置・観測 6箇所・月」と示されています。特記仕様書「第2章 業務細部に関する事項」では地下水位観測に関して具体の指示がありませんが、観測期間は業務開始後に監督員と協議の上決定すると解釈してよろしいでしょうか。	貴社の作業計画に基づいて別途協議となります。

6	<p>(6) 参考図のうち「櫛引馬淵川橋 A1 地区 ボーリング削孔横断図」において、ボーリング予定地点は供用中本線の直上法面であることが示されています。本線通行車両の安全確保のため、ボーリング作業期間中は少なくとも路肩規制が必要と思われますが、交通規制は NEXCO さんで実施して頂けると考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>交通規制が必要と認められる場合は NEXCO で実施します。</p>
7	<p>(7) 参考図のうち「櫛引馬淵川橋 A1 地区 調査ボーリング給水・搬入路伐採・小運搬計画図」において、クローラ運搬終点から調査地点間は人肩運搬が計画されています。ボーリング予定地点は供用中本線の直上法面である一方、切土法面勾配は 1:1.2 (≒40 度) であるため、本線通行車両の安全確保が必要と考えます。小運搬方法を変更提案した場合、契約変更対象として認められますでしょうか。</p>	<p>小運搬方法の変更が妥当と認められる場合は変更対象となります。</p>